

(仕様書第 3 号様式)

支援業務等実施報告書 2022年4月～7月分

(作成日 2022 年 7 月 15 日現在)

1. 業務の名称

かながわコミュニティカレッジ運営業務

2. 実施した業務の内容、所見等

(1) 講座企画・編成方針、講座開催計画

●講座実施団体、講師等との企画調整

- ・ 開催を計画した全 34 講座 (35 件) について、全ての講座企画実施団体又は講師と連絡を取り、実施時期や内容等の調整・確認を行いました。十分な広報期間を確保し、特定の時期に講座が重ならないよう年間開催計画を策定しています。5 月後半から受講生募集を開始し、7 月から順次講座が開講しています。
- ・ ボランティア活動未経験者層を主な対象とするオンラインセミナーを下記要領で開講しました。
日 時：7 月 3 日 (日) 13:30～15:00
会 場：Zoom によるオンライン開催 (希望者は講義室での視聴も可)
テーマ：人生 100 歳時代 地域で学び、地域で活躍する
内 容：(第 1 部) 講演「絵巻物で読み解く江戸の市民社会
～エコでボランティアな江戸の町に学ぶ～」
講師 椎野 修平氏 (認定特定非営利活動法人日本 NPO センター特別研究員)
(第 2 部) コミュニティカレッジの紹介
参加者：計 93 名 (オンライン 88 名、会場視聴 5 名)

参加者アンケート結果より (回答 70 人、回答率 75%)

【参加者属性】

- ・ 回答者の 6 割強が男性。年齢層は 60 代が最も多く (37.1%)、次いで 70 代 (28.6%)。
- ・ 回答者の 4 割が初めてコミュニティカレッジ講座を受講。
- ・ セミナーを受けて地域活動に「参加したいと思った」は 28.6%、「どちらともいえない」が 31.4%。「既に参加している」が 37.1%。

【セミナーの感想 (抜粋)】

- ・ ボランティアな営みは昔から色々な所にあったことが分かりました。自分もコミュニティカレッジを通じて知識を習得しボランティア活動に参加できたと思います。
- ・ コミュニティでのボランティアや 3R が当たり前であった時代があることがよく分かりました。
- ・ ボランティア活動と「もったいない」を実践していた江戸時代の人々の暮らしは、見習うところがあると感じました。
- ・ ボランティア活動については、NPO について基本的なところがよくわかっていないので、NPO にする必要性や、メリットがわかるお話が無料で聞けるといいなと思いました。
- ・ オンラインセミナーは初参加でしたが、特別講演は興味深い内容でした。以前から生活者視点を持ち SDG's 活動に取り組んでいます。環境問題は、行政主導に全てを委ねるのではなく、企業や個人も環境に配慮したライフスタイル・価値観の共有が必要だと考えています。

●講義室における感染症拡大防止対策

昨年度同様、神奈川県感染症防止対策取組書への登録を行い、基本的な対策（検温、マスク着用、部屋の換気等）を受講生にも周知して講座運営をおこなっています。

(2) 受講生募集のための広報について

4月初旬から広報準備を進め、5月下旬より受講生募集を開始しました。個別の広報活動は以下のとおりです。

- ・ 主催講座と連携講座の募集案内をそれぞれ作成、県内の公共施設等に配架依頼をしました。
- ・ 講座情報を下記の媒体を通じて告知しました。
県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ（県のHP及び当団体運営HP）、講座修了生向けメール、基金事業課・NPO協働推進課のメールマガジン、県のTwitter、Facebook等
- ・ 年間講座一覧とスケジュールを載せたパンフレットを作成、5月末に県内の公共施設等へ送付しました。

(3) 自由企画提案業務など

修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援に資する下記の取組みをおこなっています。

●修了生アンケートの実施

- ・ 令和3年度講座修了生を対象にアンケート調査を実施。6月中旬に419人（延べ修了者数520人）にアンケート用紙を郵送し、回収・集計作業を進めています（7月15日締切）。1講座のみ受講者（335人）にはWEBフォームからも回答できるようにしました。
- ・ アンケート調査時に「近況報告シート」を同封したところ、多くの修了生から活動状況や近況報告を返送いただきました。「近況報告シート」は、講義室1の外壁を利用したコミュニケーションボードに掲示しています。

●修了生及び登録者への定期的なメール配信

- ・ 過去の講座修了生（メール配信希望者）と、県のホームページ経由で申込のあったメール配信登録者に宛て、講座情報や相談窓口案内を掲載したメール情報を配信しました。（配信数3,376件：7月現在）

●コミュニケーションボードの活用

- ・ 講義室1の外壁を利用したコミュニケーションボードに、市民活動支援施設で開催される講座案内など、受講生の今後の活動に役立つ情報を掲示しています。令和3年度修了生から寄せられた「近況報告」も掲示しています。

●パンフレットスタンド（ラック）の活用による市町の支援センター情報の提供

- ・ 県内の市民活動支援施設が定期的に発行している情報紙（28ヶ所）を、2つの講義室内に設置しているラックにそれぞれ配架して、受講生の活動に役立つ情報提供を行っています。

●受講生・修了生のためのオンライン交流会

- ・ 今年12月頃、受講生・修了生の情報交換を行う場としてオンライン交流会を実施予定です。

以上